

学校法人 筑紫海学園
 香椎幼稚園
 〒813-0003 福岡市東区香住ヶ丘1-2-3
 TEL 092-681-3320
 つくしみ山荘
 〒879-4912 大分県玖珠郡九重町湯坪柳釣1585-9
 TEL・FAX 09737-9-3408

筑紫海会報

発行者 **福岡女子大学同窓会 筑紫海会**
 発行所 〒813-0003 福岡市東区香住ヶ丘1-2-3
 香椎幼稚園内
 TEL・FAX (092) 671-6360
 振替口座01780-7-26212
 印刷 樋口印刷

熱い思い・深い絆 25年 つくしみ山荘

つくしみ山荘設立25周年記念募金に大勢の会員の皆様のご協力を頂きありがとうございます。心から感謝申し上げます。

昭和52年九重飯田高原に設立された山荘は、同窓生、山荘付近の方々、管理人の安達さん夫妻など多くの方々に支えられて25年もの間、維持することが出来ました。関係者の皆様に改めて御礼を申し上げます。

四季おりおり美しい自然に恵まれた山荘は、同窓生を初め、大学、教職員互助会、香椎幼稚園、一般のお客様など大勢の方にご利用頂いてきました。しかし、最近、少子高齢化、経済不況などの社会情勢の変化に山荘もかなりの影響を受けるようになりました。同窓生に夢や希望や安らぎを与えてくれる山荘を維持するために努力することは同窓生の大切な使命だと思います。

そこで、皆様から頂いた寄付金を山荘の設備を整え、経営を安定させるために使わせて頂くことに致しました。

現在、女専1回から大学48回までの622名および卒業生以外の方1名、合計623名の方から254万2152円(平成13年度同窓会総会会場の130名49万9000円の寄付金を含む)のご寄付を頂いています。このように多数の方から、また卒業生以外の方からまでご寄付を頂いたことは予想外のことで大変嬉しいことでした。



同窓生の心の絆のひとつであるつくしみ山荘も二十五年目を迎えました。私達の思い出を育む場でもあるその山荘も、昨今の経済不況の波をものにかぶり困難な状況になっているの否めません。会員の中にはその存続に反対する人もいないわけではありませんが、せっかくここまで頑張ってきたし、そして何より私達同窓生自身のためにできるだけのことはしたいという意見が大半です。その気持ちが大変な負担です。また、毎年学園祭や同窓生の集まりで手芸品を販売し、その収益金を全額寄付して下さる方たちもいらっしゃいます。

同窓生ひとりひとりが周りに呼びかけて利用し、山荘での思い出を積み重ねていきたいものです。

募金活動の報告とお礼

筑紫海会会長 **森永泰子**

皆様のお支えや山荘に対する暖かいお心遣いは、この事業の関係者に大きな励みと勇気を与えて下さいました。本当に有り難うございました。厚く御礼を申し上げます。

今後とも、同窓会・山荘

「継続は力」が広がって

女専25回生活科 有志手作りの会

私たちがクラスメイトは、平松先生がお元気な頃から集まっていた、プータンの織物で小物を作り、アジア博覧会館の展示品を手伝いしたり、先生が持つておられたパッチワークのパーツをつなぎ合わせてベッドカバーに仕立てたりして来ました。山の家が数年前から赤字というのを聞いて、何か作ってバザーをしたらどうかと、級友の中から意見が出ました。先ず五人の方が三千円ずつ出して下さって、一万五千元でスタートしました。最初は何かを作って何処で売るかというのが、全然わからず、また作ったものが売れなかつたり、作るのにも手間がかかたりと、現在も試行錯誤の状態です。今迄多く作ったのは、手描きの花ハンカチ、押し花のはがきや絆を使ったアップリケの



近年、がんなどの生活習慣病が国民の健康問題の大きな課題となっており、これら疾患の発症と進行ならびに治療効果をあげるには、食生活改善が重要であり、その栄養指導の実践にあたる栄養士(管理栄養士)には、高度で専門的な知識や技能が求められています。

このような状況のなか、平成12年「栄養士法」の一部が改正され、平成14年度から施行されることになりました。従来、本学のような4年制の栄養士養成施設でも、ランチオンマットなどです。

「継続は力なり」と言いますが、私たちがこういうことをしていると知って、同級生やお友達が、布や材料を送って下さったり、こんな物は売れないかしらと、



2002年3月の同窓生ツアー

管理栄養士養成施設認可

福岡女子大学 前人間環境学部長 **長 修司**

卒業と同時に管理栄養士の国家試験を受験することが出来ましたが、今後は、これが現実には不可能となり、管理栄養士養成施設の卒業生だけが卒業時に受験できません。

これまで、本学栄養健康科学科の多くの卒業生が、管理栄養士の資格を取得し、栄養指導・栄養行政を通じて、地域住民の健康の維持・増進に多大の寄与をしてきました。

このように本学は地域住民の健康管理に当たる管理栄養士を養成する機関として、県内では中心的役割を果たしてきました。

したが、今後もこの機能を果たしていくことは県立の大学として本学に課された責務です。

今回の法改正により、管理栄養士養成施設の認可を受けると、本学の栄養健康科学科を卒業しても管理栄養士の受験資格が得られないことになり、本学の存在の意義そのものに関わる重大問題となります。

このような状況から、管理栄養士養成への移行をはかるために、国に対し指定申請書の提出を行なったところ、平成14年1月28日付で管理栄養士養成施設指定通知がなされました。後押しをしていただいた同窓会の皆様に厚く御礼申し上げます。

平成14年度・総会のご案内

- 平成14年度の総会を左記の通り開催いたします。会員相互の交流を深め、同窓の輪を広げたいと、多くの皆様のご参加を楽しみにお待ちしております。
- 日時 平成14年5月26日(日)
 午前11時～午後3時
 受付開始 午前10時
 会場 ホテルステーション プラザ
 (福岡朝日ビル9階 JR博多駅博多口前 092-431-1211 会場地図は6面にあります。)
- 一、出席のお申し込み
 左記の要領で、ハガキまたはFAXに明記の上、5月20日(月)必着でお申し込み下さい。
 申し込み方法の一例
- 申込連絡先
 〒813-0003 福岡市東区香住ヶ丘1-2-3 香椎幼稚園内 福岡女子大学同窓会事務局 TEL・FAX 092-671-6360
- 一、総会 議題
 1 平成13年度事業及び決算報告
 2 平成14年度事業計画及び予算案審議
 3 その他
- 一、懇親会
 おもてなし達人になるために
 富松由紀さん(大24回) 総会終了後、来年度の打合せを致します。
 来年度当番 (女専24大学3・4・23・24) (当日、受付にて)
- 一、会費6,000円
 (昨年9月に10万円、今年3月にも10万円、これまでに総計35万円のご寄付をいただきました。編集部)



笑いとおしゃべりの製作風景

波紋

▼所属する短歌会の主力メンバーが七十代以上であることにあらためて愕然とした。しかし日本の高齢人口が、昨年二七二万(一七%)二〇〇六年には二〇%を越す、とあるから驚くことはいか。つまりは短歌人に限らず、社会全体が紛れもなく「高齢社会」になったのだ。優雅な隠居暮らしなど望めず、現役であり続けなければならぬ時代。とは言っても老人ばかりの歌会はやがて異様である。

▼長い間、短歌「青春」と言われ近代歌人の多くは「若い」の歌を知らず生涯を終えた。「若い」をどう捉えるか、正面切って向き合うのは可成りシンドイことではある。テレビで見る国会の長老議員達の言動に辟易しながら、しかしあの姿もわかり易いか。ともあれ、九十歳を越えてなお現役歌人であり続けられた斎藤史は「くじやぐじやのおじやな」などを朝餉に何で残生が美しからう」と詠んでまことに痛快だ。「若い」は美しくない」と達観して明快な歌の形にする。その勁さ、居直りの精神が逆に新しい美しさを生み出した。またもう一人の熊本在住の歌人、築地正子は「のび盛り生意気盛り花盛り 若い盛りとぞ言はせたまさの」と詠みこれもまた快哉である。▼これらの歌人たちの様に確たる自信のある生き方は、まだ私には見えぬ。しかし長い間に習得した文字と言葉を使って、今を生きている思いを表現しつづけた。携帯電話もEメールも知らぬ老人の愚直さである。

河上 洋子(専19家)

